NEWS　RELEASE

令和２年４月１日

全国信用協同組合連合会

各　位

「全信組連 SDGs 宣言」の公表について

全国信用協同組合連合会（以下、全信組連　理事長 内藤純一）は、SDGs（持続可能な開発目標）への対応にかかる基本的な考え方として、「全信組連 SDGs 宣言」を策定いたしましたので、別添のとおり公表いたします。

当会としては、本宣言に基づき、引き続き当会役職員が一丸となって、全国の信用組合とともに持続可能な社会の実現に向けた取組みを推進してまいります。

以　上

****
（本件に関するお問合わせ先）
全国信用協同組合連合会　総合企画部
ＴＥＬ ： ０３－３５６２－５１１５
****

全信組連SDGs宣言

令和2年4月1日

全国信用協同組合連合会

【全信組連SDGs宣言】

全国信用協同組合連合会（略称：全信組連）は、信用組合の系統中央金融機関として、これまで相互扶助を理念とする信用組合の金融取引の中核機能（資金決済、インフラ整備等）、金融業務補完機能（融資商品・サービスの提供等）、業界の信用力の維持・向上機能（資本増強支援等）を担ってまいりました。 さらに、全信組連として、今後もこうした機能を一層強化することにより、信用組合それぞれの基盤としての「しんくみコミュニティ」（地域・業域・職域）の持続可能性を更に高めるため、2019年7月より全信組連と信用組合の業界団体である一般社団法人全国信用組合中央協会（略称：全信中協）との一体的運営を開始しました。

2015年９月、国連サミットにおいて、持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットを定めた「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択されました。本目標は、当会が経営理念として掲げる「共存同栄」に合致するものであります。したがって、当会はSDGsに賛同し、信用組合とともに持続可能な社会の実現に向け取組んでまいります。

【SDGsの概略図】

出典：国際連合広報局

【経営理念】

信用組合相互間の協同連帯の精神に基づき、金融の実践活動を通じて信用組合およびその組合員等の発展に寄与し、併せて**共存同栄**の実を挙げること。

経営理念「共存同栄」 我が国金融機関の創始者・渋沢栄一翁書（当会所蔵）

【全信組連が主に取り組む3つのテーマ】

地域経済の低迷、人口や事業者の減少等といった社会の変化を踏まえ、全信組連は、以下の３つを重要なテーマと考えており、全国の信用組合とともに、これまで以上に社会的課題の解決と持続可能な社会の実現に努めてまいります。

１．全信組連のガバナンス・経営基盤の強化を通じて信用組合ひいてはその組合員・取引先の持続的発展を目指します

・ 全信組連は、2019年7月より全信中協と経営・執行体制の一体的運営を開始しました。両組織はこれまで以上に一層緊密な連携を図り、信用組合ひいてはその組合員をはじめ取引先の皆様の持続的発展を目指してまいります。

２．さらに、信用組合がその基盤を置く「しんくみコミュニティ」（地域・業域・職域）の持続的発展に貢献します

・ 全信組連は、信用組合の基盤であるその組合員はもちろん、広く中小・小規模事業者や生活者の皆様の様々な変化を先取りして起業・創業、事業承継等をサポートし、「しんくみコミュニティ」の持続的発展に貢献してまいります。

３．CSR活動の実践に取り組みます

・ 全信組連は、全信中協と緊密に連携して、信用組合が実施している社会貢献活動、しんくみの日週間活動等をサポートしてまいります。

・ 全信組連は、働きやすい職場づくりを継続して目指し、持続的に成長できる人材の育成に取組んでまいります。

【しんくみコミュニティ】

【SDGsが掲げる目標への全信組連の取組み】

テーマ	当会の取組み	SDGsが掲げる目標
全信組連のガバナンス・経営基盤の強化を通じた信用組合ひいてはその組合員・取引先の持続的発展	・全信中協との一体的運営の開始と、そのためのガバナンス改革の実施 ・各信用組合間の連携へのサポート ・各種企業との提携商品・サービスの提供 ・信用組合の経営・財務基盤強化に向けたサポート(経営のモニタリング、経営人材派遣、資本増強支援、有価証券運用サポート等)	
信用組合がその基盤を置く「しんくみコミュニティ」（地域・業域・職域）の持続的発展	・地域活性化ファンドへの出資（中小・小規模事業者へ資金を供給） ・クラウドファンディング「MOTTAINAIもっと」の運営 ・しんくみ食のビジネスマッチング展の開催（信用組合取引先の販路開拓を支援） ・地域サポートローンの提供（信用組合の融資機能強化）	
CSR活動の実践	・しんくみピーターパンカードの取扱（提携クレジットカードの利用代金の0.5%をチャリティ関連諸団体等へ寄付） ・当会－信用組合－全信中協間の人事交流の推進 ・女性活躍の推進 ・ユニバーサルマナー検定の取得	